



JCD

Kansai

1994.10. Vol.34

Japanese Society of Commercial Space Designers

関西国際空港

研究開発委員会委員 郷力 憲治

関西国際空港は、関西の21世紀を拓く黄金の港として9月4日に開港しました。世界の21の国や地域と24時間体制で結ばれることにより、人・物・情報の交差点として、アジアのハブ(中核)空港を目指しています。構想から26年、さまざまな難関を乗り越え、7年の歳月を掛け、今、大阪湾にゆったりとその姿を現しています。

私をはじめ岸和田港から乗船し、ほぼ護岸が完成し底開バージと呼ばれる土運船が頻りに土砂を運搬している現地を見学し、建設事務所の会議室で地盤改良等空港島造成に関わるVTRを見せていただいていたから、早くも5年が経過しました。その年の12月空港施設の中核となる旅客ターミナルビル(PTB)の国際コンペが行われ、イタリア人建築家レンゾ・ピアノ氏の案が選ばれました。全長1,660m、直径16.4kmの地表に現れた巨大な円弧の一部は鳥やグライダーの翼に見立てられ、生命力の感じられるエコロジカルな流動線で描かれている。PTBのプランが決定した頃より雑誌や新聞等に関空関連の話題がマスコミを賑わし、関西の話題の目玉となっていた。

旅客ターミナルビル内のコンセッション(商業・サービス)施設のプロポーザルコンペを経て私がこのプロジェクトに参画したのもこの頃からです。当時PTBの実設計も調整中でレンゾ・ピアノ氏の基本設計をベースに日建設の佐々木室長を中心としたPTB実設計作成共同体(4JV)で具体化を進めておられる最中で決定した平面図も未だなく、フリーハンドの修正の入ったマスタープランが一枚あるだけでした。

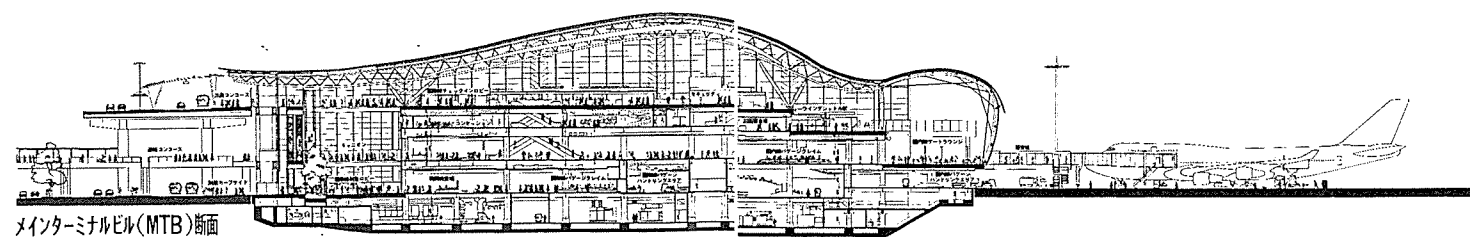
全長1,660mの南北に長い旅客ターミナルビルの中央部3階を中心に、2階到着ロビーや各ロビー、南北のウィングに点在するコンセッション(約9,000㎡)の位置や面積を確認しながら、それぞれの機能や役割の検討を重ねて2カ年が経過し、3年目の92年11月商業テナント募集の説明会にこぎつけた。この間に世界の情勢が大きく変化し、日本のバブル経済も破綻し、生活者の価値観も大きく変化していった。月坪当り最低保証賃料、飲食65,000円、物販92,000円といった経済条件の中124区画の商業テナントの出店意欲は旺盛で12月14日から18日まで行われたテナント募集申し込みは、飲食平均12.5倍、物販平均5.1倍、約900社の応募が寄せられた。明けて開港まで1年半余りとなった93年1月から2月にかけて商業テナント選定に伴う店舗評価援助業務に参画し、関空ターミナル事業課と共同で、応募テナントの店舗機能やイメージ計画の書類審査を進めた。各区画ごとに上位3~5店舗が選ばれ、最終的に2段階の抽選によって決定に到った。テナントが決定した93年4月頃よりテナントエリアの建築の実設計が始まり、それぞれの区画に対するハードの諸条件を詰めながら、レンゾ・ピアノ氏の建築と各テナントの調整役として約1年間、内装監理室の運営に関与することとなった。並外れた経済条件と不透明な社会情勢との狭間にあって、テナントとの調整には些か手間取り、各テナントの設計者の方々には大きくご迷惑をかけたと思っています。93年の秋から冬にかけてPTBもほぼその全容を把握できる



PTB4Fの国際線出発ロビー。ゆるやかなカーブを描くオープニング



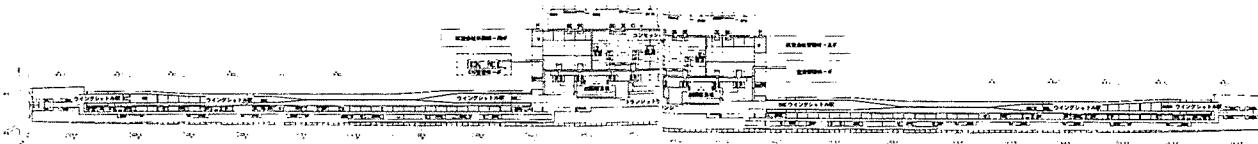
高さ25mの解放感あふれるアトリウム空間「キャニオン」



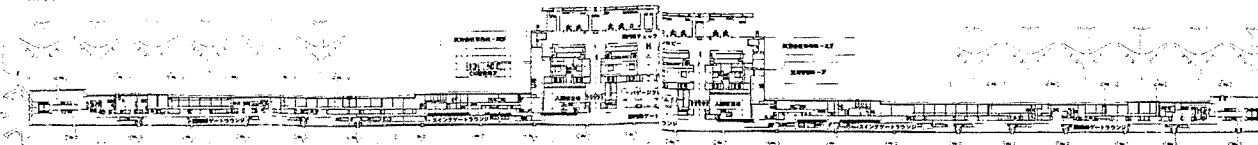
メインターミナルビル(MTB)断面



4階平面



3階平面



2階平面

ぐらい出来上がり、建築も内装の工程にさしかかってきており、内装監理室も現場のさまざまな情報を吸収しながら、テナントの実設計の支援をし、デベロッパーおよび関係官庁との調整を進めていった。なかでも建築の大空間に対応する防災計画(キャビンコンセプト)の実現定着と新しい人工島における保健指導において調整作業は困難を極めた。この頃空港連絡橋も未完成で、現場へは海上ルートしかなく泉佐野港より通船で連絡しており、天候の悪い日の渡船はかなり厄介なものとなりました。

94年1月。いよいよ開港の年を迎え、テナントの内装工事も建築の工程と連動して実施されることとなり、4月6日を目標に着工された海上空港・海上輸送という前例を見ない内装工事に重ねて、不同沈下に対応すべく考えられた900本の柱脚にセットされたジャッキアップシステムを吸収できる内装の設計と施工といったハードも数値的な根拠に乏しく、経験値を基準として判断せざるを得ないような状態であった。さまざまな特殊事情はハード面だけでなく、テナントの経済条件を圧迫するばかりで、設計内容も逐次変更されるケースが多くなり、現場は混乱し長期化の様相を呈し出したが、工期を延伸することは不可能であり、打開策として家具備品等を本工事より分離施工し検査対象内容を分割審査することにより、テナントとデベロッパー双方の立場を調和させることが可能となりました。ソフト面でも双方の意識の差は大きく、テナント決定を受けて93年5月28日テナント設計説明会が開催され、関西の国際化に向けてPTBにおける商業ゾーンの在り方を空間的かつ性能的に極めて厳しいハード条件の中で具現化するため導かれたソフト面に力点を置いたコンセプトが提示されたが、93年12月11日の読売新聞に「厳しい規制」といったタイトルで、商業ゾーンの内装設計指針を過剰な規制とし、特にサイン規制に対する不満と営業行為への過剰な指導を取り上げられ、ターミナル事業課や内装監理室は周辺への対応に追われた。その2週間後に開港日は決定された。

内装設計指針書の中でうたわれた国際化社会への対応としての関西らしさや伝統に根ざしたホスピタリティの現代への代謝は地域性に根ざしたインターナショナル性の発見であり、「日本発のインターナショナル」の構築といえ、決して現実を否定するものではない。せめぎあう葛藤の中で、私達の狙ったコンセプトが風土として活き活きと根づくには、より豊かな時間と現実の蓄積を待たなければならないように思える。

開港直前の8月27日から3日間、朝日新聞の朝刊は「関西空港・重い離陸」という記事を連載し、8月22日空港島からさらに沖へ1.3km地点での海底地盤調査のボーリング開始を報じ、重ねて「全体構想」への様々な思惑を論じている。地元の熱心な働きかけでボーリング調査は始まったが、着工を前提とするものではない……、国の本音は成田早期完成にあるようだがその用途は立っていない。空港整備計画策定に向けた各地の思惑が原因であろう、国際民間航空機関(ICAO)の予測によるとアジアの旅客数は今後、年10%増のペースで伸びる。21世紀初頭の世界の航空需要の51%をアジアが占めるという試算もあり、増加する航空便を自国に引き寄せ、経済の拠点にしたいと考えるアジア各国間で、大型国際空港建設や現空港拡張の競争が既に始まっている。韓国(新京城)、中国(上海)、シンガポール、香港、台湾。面積は成田や関西の3倍以上、滑走路は4本という計画もある。超音速機や超大型旅客機が一般化し、輸送能力が一段とアップする「大航空時代」の訪れを視野に入れてのしたたかなアクションである。

JCDを変えよう 関西支部 特別委員会協議事項中間報告

30年以上にわたる協会活動における「その意義と現状の協会活動のありようについて」問題提起が高まっています。商環境設計家としての職能の拡大・拡散ならびに協会組織としての拡大等により、本部活動ならびに機構が本当に支部会員のためになっているのか？また支部活動のマンネリ化や現況の多岐にわたる会員の価値観に合致した協会活動のあり方等々検討事項は多々あります。

関西支部の新年度活動に当たり「JCDを我々によって変えていこう」という支部長方針のもと、支部活動の基本的な問題点の提起を行う特別委員会が設置されました。早朝会議を含め5回にわたる討議結果の要約を整理して、中間報告とします。

下記の項目については、支部全体活動として各委員会活動の計画への課題として今後の継続的テーマとなり、具体的活動の中で検討してゆく必要があります。特別委員会はこの後も継続的に問題提起をしてゆきます。

☆今回検討テーマ事項

- A. 魅力ある協会活動のあり方
- B. 協会の対外的認知を促進するためのPR活動とその準備
- C. 支部活動を円滑化するために必要な財務計画
- D. 支部コミッティーの設立準備
- E. 支部事務所の環境整備

A 魅力ある協会活動のあり方

協会全体としての問題ならびに本部・支部との活動のあり方等、検討事項はあろうが支部活動としてもマンネリ化しているのは事実である。協会活動への参加意義があれば、また魅力があれば会員の積極参加の意義も必然的に揚がり、また新会員の募集もしやすくなる。協会をバックアップする賛助会員ならびに支部賛助会員についても然りである。この課題は協会活動の活性化・健全化・継続性のためにも最重要課題である。

《提起事項》

- 参加することにより意義・メリットが明確に分かる協会活動の計画
- 有効な業界情報の提供・交換、職能・技能向上を目的とした行事の計画
- 活動の実施計画ならびに具体的な実施方法に新しさを感じ、魅力的であること
- 「クリエイティブ活動」の掘り起こし及びその奨励
- 協会活動参加及びその結果についての成果発表のあり方と評価の仕方

《今後の検討事項》

- 委員会リーダー選出方法及びメンバーの選出方法の検討
- 新任選定期期の早期化（任期の件については本部にて検討中）と支部活動計画立案の早期化
- 前任担当委員よりの業務引き継ぎと問題点の検討
- 賛助会員にメリットとなる活動のあり方と細かい意識の配慮

《改善事項》

- 各種委員会活動の役割の再整理
- 毎年の各委員会の計画の早期立案
- 各委員会活動計画の総体的な検討
- 委員会活動の結果報告・記録
- 定例委員会の合理化と各委員会における運営の工夫（情報交換・発表・勉強テーマ）
活動成果の認め合い

B 協会の対外的認知を促進するためのPR活動とその準備

社団法人としての職能団体である協会活動について、対外的認知を得られるような活動を積極的に行っているとも思えない。また、そのPR活動についても継続的な実施と具体的方針も無い。前記の協会活動のあり方にも関連のある事項である。

《提 起 事 項》

- 協会活動として、はっきりアピールできる行事・事業の立案
- パブリシティー活動として、公共団体へのPR（広報担当部署の確定と専任担当の決定）

《今後の検討事項》

- 協会PRツールの作成
- 会員の業務案内書の作成

C 支部活動を円滑化するために必要な財務計画

現状の本部から支部への還付金及び賛助会員会費等による財務状況では支部運営が困難。行事計画を行うごとに会員への経済的負担がかかる現状の改善が必要。

《提 起 事 項》

- 支部還付金アップの検討と本部への提起
- 支部賛助会員の募集・増強
- 会員の増員計画
- 委員会活動の活性化ならびに運営経費の確保

《今後の検討事項》

- 支部運営健全化・活性化のための蓄積金の検討
- 支部収入になる事業の検討（公共事業への参加検討）

《改 善 事 項》

- 支部財務計画の全体レベル及び委員会活動関連の事前検討
- 支部財務内容の報告の明確化
- 事業計画における理事・委員に負担を掛けない必要経費の計上
- 事業収支結果の発表と記録

D 支部コミッティーの設立準備

関西支部として広範囲にわたる現況の地域会員をまとめることにより、活動の活性化ならびに掘り起こし、また支部会員と地域エリア会員への活動の支援を行うため、支部コミッティーの設立は意義がある。

《提 起 事 項》

- 支部コミッティーの趣旨の明確化
- 支部コミッティーのメンバーの整理

《検 討 事 項》

- 支部コミッティー委員会の設立と活動方針の決定
- 上記計画についての関西支部レベルでの検討
- 支部及び支部コミッティーとの組織システム連携の検討

E 支部事務所の環境整備

事務諸設備の老朽化及び委員会活動が盛んになり参加スタッフが増え、現状設備では満たされない。改善が必要。また事務運営の改善。

《提 起 事 項》

- エアコン・打合せテーブル・イス・照明等 設備の改善

《検 討 事 項》

- 事務所移転案（メリット・デメリット・費用等の検討）
- 上記計画の財源の確保、寄贈者の募集
- 事務所員の業務の内容及び委員会のサポート業務の指示方法について

上記 特別委員会討議参加メンバー

担当理事……	野村武彦／要 信行	副委員長……	岡 修作／原田隆夫	
委員 長……	里吉 明	委 員……	笹木秀近／長岡 茂／野田秀雄／広川啓知	
オブザーバー	副支部長……	大菅満義	理 事……	蔭山利夫／山田悦央

お願い

協会活動に関する皆様からのご意見は、1993年、1994年、関西支部集会・バズセッションにおいて賛助会員の方々も含めて討議してまいりました。会員個々の方々よりのご意見・希望・提案等につきましては、「支部特別委員会」あてにお寄せください。

真夏の夕暮れの……ビヤパーティー

猛暑・灼熱・熱帯夜。今年の夏はとにかく暑い！暑い夏は「ビールが美味しい！」というわけで、今年の夏も去る7月20日、南港A T CでJ C Dビヤパーティーの運びとなりました。

ビールを飲むだけではつまらない。第1部は辻川氏・郷力氏・野井氏の三会員による講演会を盛り込んで三氏の最近の作品にふれ、第2部ではゲームあり、お喋りありのパーティーと2部構成にして盛り沢山のプログラムとしました。

第1部の講演会 — 三氏は作品・人間性共に個性的。辻川氏の大型商業A T C。郷力氏の地下街なんばウォーク。野井氏のバー「川名」と、その作品のジャンルもバリエーションに富み、質疑も活発で会員間でのこうした機会を活かしたいという意見の多さを感じました。

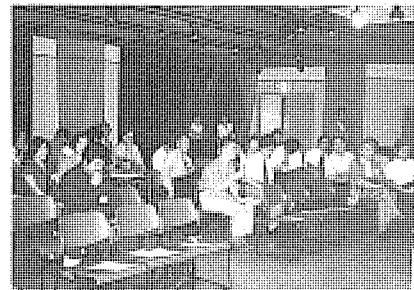
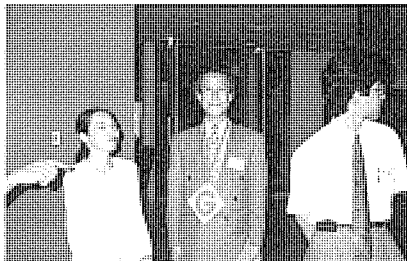
第2部ではトレンド・ゲームを中心に、チーム・トーナメント方式で進行了ましたが、勝負がかかるとケッコウマジな会員の皆様には驚かされます。

ビールを片手に「知力とスピード感」の競い合い。皆様楽しんでいただけましたか？ 今度は体力も加え、ふらふらになりましょう……是非。

「アー 今年はビールが美味しい！」夜には花火と海の音を聞きながら「乾杯！」の声があちこちで…。

今年の夏、ビールの売上は例年以上に好調でした。

▼第1部の講演会/左から野井氏・郷力氏・辻川氏



▲質疑も活発！カジュアルなムードで…

◁堂々の第2部「優勝」のスマイルです



▲決勝の顔は「マジ」です

◁〇×ゲーム/さて、あなたは〇か×か… 皆さん考えてます

J C D 関西 ボーリングコンペ

去る8月30日(火) 第4回のボーリングコンペが、今回も弁天町ボーリングで12組48名の参加者により開催されました。

今年は異常な猛暑でしたが、参加者は猛暑にも負けずに日頃の色々な鬱憤を球にのせてストレス解消のために、ピンめがけて投げ、一球毎に常連・初参加者全員が、それぞれに我を忘れながらもチームワークを固め、3ゲームによるチーム戦を戦い抜き、爽やかな汗をかきながら盛り上がった次第であります。

(1ゲームでお疲れの方もいたようですが?)

また、回を重ねる毎に多少ながら優勝のレベルアップも計れているようです。

今回は12組48名の参加者でしたが、正会員の参加者が全体から見ると少なく、次回は来年の1月に開催の予定をしておりますので、正会員の皆様を含め、初めての方も多数参加していただくようよろしくお願いします。



▼優勝チームの皆さんのVサインです



第1回 JCD関西 文化同好会 組織委員会主催

《フィルハーモニアウインズ演奏会》を満喫する。



9月30日午後7時より2時間あまり、秋の夜の一時を今、
話題の音楽ホール「イシハラホール」にて、関西の四大オーケ
ストラ首席奏者たちが奏でる〈木管ピアノの響き〉を味わう。

ルフェーブル：組曲、作品57／モーツァルト：ピアノと木管のため

の五重奏曲／ヒンデミット：木管五重奏のための小室内楽／プーランク：

ピアノと木管のための六重奏等、クラシックと言えどもモダンに近いも

のがあり、肩の凝らないコンサートに酔いしれる??ことが出来まし
た。

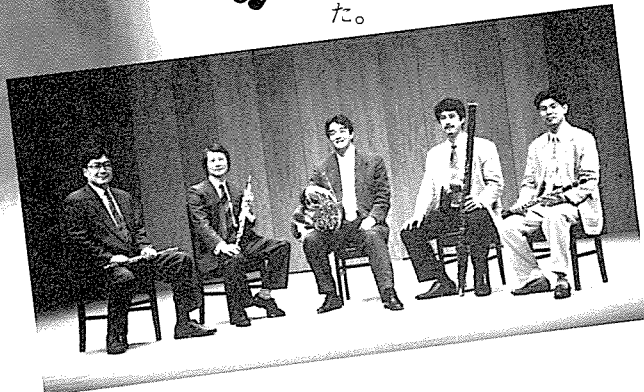


—参加者15名—

コンサート後、有志数名と共に
イタリア工房「アマート」にて
パスター料理をいただく。

また、引き続きこれからもジャ
ンルにとらわれず、多彩にカル
チャーティストを企画してゆき
ますのでお楽しみください。

— 友田 みのり 記



委員会だより

役員会

- 平成6年7月11日(月)
 - 7月9日 財務委員会報告(野村副理事)
 - 各委員会報告 ・本部スケジュール変更
- 平成6年9月5日(月)
 - 本部報告 ・要 支部長 ・デザイン賞会議
 - 機関誌委員会 ・シンポジウム
 - 組織委員会 ・研究開発委員会 ・情報委員会
 - 特別委員会

特別委員会

- 平成6年6月6日(月)
 - 特別委員会の概略主旨について
 - 活動組織 目的
 - 内外に向けての役割分担(メンバー構成)
 - 金曜日の朝7:00より朝食会をかねて(7~9月)
国際交流センター1F
 - 本部への提案及び本部組織の活性化について
支部長より報告
- 平成6年7月1日(金)
 - 理事会報告 ・特別委員会の活動について
- 平成6年7月8日(金)
 - 特別委員会で検討すべき事項の抽出
 - 活動の要因に不可欠な問題の抽出
 - 具体的なテーマを何に絞るか
 - 外向き、内向き活動の区別について
 - その他
- 平成6年7月22日(金)
 - 本部報告 財務より — 会費の件
 - 支部バスセッションの意見より
- 平成6年8月5日(金)
 - 支部長会報告 ・会費の還付金問題
- 平成6年9月27日(火)
 - 中間報告書についての検討
 - 支部財務について
 - 中国室内建築士学会との交流について

組織委員会

- 平成6年6月8日(水)
 - 委員長報告 ・特別委員会報告
- 平成6年9月7日(水)
 - 常任理事会報告 ・デザイン賞会議報告
 - 機関誌会議 ・USDOの報告
 - ポーリングコンペの報告
 - ピーパーティ・セミナーの報告
 - 会員・賛助会員の拡充計画について
 - 特別委員会中間報告
 - るるぶ案内
 - クリスマスパーティ案内
 - 第1回文化同好会

研究開発委員会

- 平成6年7月5日(火)
 - 協会報告(6月30日付分) No.38号 No.39号参照
 - 小宮会員によるイギリスの商業施設(スライド)
 - カルチャード事業計画の検討
 - アカデミア事業計画の検討
- 平成6年8月2日(火)
 - 北海道支部他のシンポジウムの案内
 - 会員及び広告スポンサー増強の件
 - 会費未納者、退会者の増加の件
 - 今年度秋のシンポジウム9月27日の協議
(次回9月6日遂に小委員会で調整)
- 平成6年9月6日(火)
 - 常任理事会9月17日予定について
 - 機関誌委員会より
 - シンポジウム委員会より
 - 特別委員会より
 - 研究開発委員会足立GROUP(デザイン事務所OA化)
 - 足立委員よりPARIS 近況

情報委員会

- 平成6年7月15日(金)
 - JCD KANSAI 第34号について
 - 記事内容 協議 検討内容
 - JCD KANSAI の反省(第33号) ・広告依頼
- 平成6年8月10日(水)
 - 機関誌委員会について
 - JCD KANSAI 第34号誌面構成について
 - JCD KANSAI の広告依頼について
- 平成6年9月8日(水)
 - JCD KANSAI 第34号誌面構成について
 - 各委員会報告 ・本部機関誌委員会について

*****会員の動き*****

		住所変更	
道下	浩樹	〒550	西区土佐堀3-3-10 土佐堀コーポラス701 道下浩樹デザイン事務所 TEL. 06-443-7414
久保田	博文	〒542	中央区西心斎橋1-10-12 サンハイム心斎橋502 (南まちかど企画) TEL. 06-282-0141 FAX. 06-282-0482
宮武	光一	〒546	東区吉区山坂4-2-3 山坂ビル3F DAPデザイン宮武 TEL. 06-693-9888
吉田	博文	〒550	西区北堀江1-1-10 アークビル9F (株)SMHパル煥社 オメガ事業部 TEL. 06-538-8555 FAX. 06-538-8561
西川	二郎	〒657	茨木市天王2-8-21-506 TEL. 0726-24-7082
川添	稔	〒532	淀川区宮原2-7-38 藤和新大阪西浦ビル8F (株)エンジニアリング・フジ TEL. 06-394-2283

この仕事を始めて30年近くになりますが、ここ1・2年の厳しさは初めてです。

本年は、やっとエンジンがかかり走り出したところですよ。

私共では現在、心齋橋筋の宝石店・西宮の洋菓子店橋本・河内長野の眼鏡店と手掛けておりますが、どの店舗も必ず覗いて見たいような魅力的な、親しみやすさ、そして少し変わった雰囲気を持つように心掛け頭を痛めています。

私はゴルフ以外は仕事に興味ですので（本人はそう思っているのですが……）お蔭様で仕事でストレスが溜まることはありません。

頭髮は白に近づいてきましたが、好天に恵まれるゴルフで顔は真っ黒です。日焼け止めを塗ってもあまり効き目が無いようです。これは「無駄な抵抗」とあちこちから声が掛かりそうですね。あっはっは……。

日建店創 磯崎 敏男

“蝶に見せられた53年”

(株)船場馬田 勲

人生で大切なものの一つに「趣味」があります。それは無我の境地に人心がどっぴりとつかれるからです。ミドリシジミが溪流の上を素早く飛び、目指す花に止まる。少年は目を輝かし、興奮の様子で蝶に迫る。京都・貴船神社の昆虫採集風景である。ミドリヒョウモンを大山に追い、カラスアゲハを箕面の奥山で、そしてベニヒカゲを大雪山に求め……。蝶には不思議な魅力があります。

昨今、拙宅には蜜柑の木を中心に4月からは小型の春型アゲハ、6月にはキアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ、アオシメアゲハが飛び交う“蝶の園”になります。現在は捕虫網を捨て、もっぱらカメラで生態写真と方法は変わりましたが、蝶に対する興奮は少年時代と変わらず胸がときめきます。そしてこれから出掛けたい、マレーシアのキャメロンハイランドを夢見つつ、“自然の神秘”の素晴らしい舞台の脇役でありたいと願っております。



昨年オープンしたアメリカ村の「ビック・ステップ」に続き、今度は梅田の「ダイヤモンド地下街」の商業開発を手掛けています。今年4月に出店募集を開始して以来、東へ西へとテナントさんとの交渉で飛び回っています。そして多数の企業の責任ある立場の方々とお会いして色々な話を伺っています。そうした中で、最近大きな企業も小さな企業も非常にグローバルになってきたなど、つくづく思います。「内外価格差」「円高」といったところから否が応でも国際化され、今まで国内で常識と思われたシステムが、早急に変化している様子がひしひしと伝わってきます。関西新空港も開港し、今後ますます世界が近くなってくるでしょう。こうした新しい時代に対応した新しい商業のあり方を今後も模索していきたいと思っております。

(株)大丸 関連事業本部
事業開発室 大石 淳

大菅満義



秋の大和路を
ぶらつと
歩いてみたい
と思います

神戸西武が異例の店舗撤退を決めた。バブル時代を経て、その購買層と商圈の変化と予測が大きく異なっていた商品の展開が違い、そしてハーバーランドの中の立地の影響が輪をかけて売上げ不振、巨大な累積赤字の結果である。

それに反し、京都では老舗2大百貨店が夫々1.5倍の増床をなし遂げ、建都1200年のスタートを切った。これも数年前に計画された予測がどういふ結果となるか? 公報の自信ある発言を信じたい。量販店の百貨店化が進む一方で、倉庫販売、徹底したコスト削減のシステムが広がり、自社ブランドの開発は国際製造流通に支えられて大きく変化している。即座に売れる商品の販売戦略はPOSシステムにより、在庫と仕入れ情報の適時性が一般化し、膨大なアイテムを抱える百貨店の商品管理と個性ある商品開発、そして店舗環境づくりが更に必要ではないだろうか?

どの百貨店、量販店も同一メーカーの商品を販売するならば、価格競争のみが売上げ手段となる。モータリゼーションの対応と滞留型情報性の店舗にするには更に原点に戻って「商品・立地・販売・商環境」の4点の総合的バランスとその見直しが急務である。

社会は流動的である。

太田 眞昭

二年程前から 水彩画を描き始めました。忙中閑有り、という言葉が有りますがなかなか言葉通りにいきませんが、暇をみつけては取材やスケッチにでかけています。



日曜日の駅

(株)ゼニヤ プランニングセンター
金沢明彦

J.C.D.に入会した当時は、店舗設計に情熱を燃やしていましたが(?), この10年間は再開発事業等のコーディネイトコンサルティングの仕事が中心になり、環境デザイン、店舗設計の分野との関わりは殆ど無くなりました。最近では製図台に向かっていることが苦痛に感じるようになっていきます。また、協会の運営も赤松(良一)一家では兄貴分の野村さんが副理事長、弟分の白井(現代店舗)、久保田(まちかど企画)両君は組織委員長、情報副委員長と夫々頑張っていますので、私も別の分野から違った立場で何か応援できればと常々考えております。

(株)AUC計画研究所
奥野 道郎

器

UTSUWA

人生47年生、JCD23年生、耕で
人生の半分がJCD...娘2人は成人
打ち止メ息子も中学3年生、靴、スポン
の寸法も追いつけず、この月替文も
敵にと回れ、あとは腕力のみが...
どうもこれも時間の問題と割り切ら
ざるを得ない。そろそろ小生も"器"を拘め
ゆる時の当来か... "器"は作り作っ
たきたつれが"どうも自分の"器"づくりに
気付いていつかいつかある長。
(ちねみれか生靴は26.5cm
身長は178cmである。)



この業界に入り、早26年を過ぎ業務は各都市のファッション店を担当しており、甘い辛いの区分も漸く見極められるようになりました。不況の折り、やりたくない仕事に毎日追われ、時間だけが自分のペースより早く過ぎ、その時間を取り戻すべき休日となれば、今風感覚のアウトドア志向のイメージを追い、2シーターのオープンカーでキャンプを楽しんでおります。今風とは裏腹に、もう一つは最近各地の過疎地区で村おこし事業の共同浴場が多々あり、特に露天風呂を捜し求め、この3年間で20箇所にも及びました。

最近では特に印象深かった新穂高温泉下の川べりで流れ星を見ながら入った露天風呂は、都心では味わえない野趣豊かな感がありました。以上が専らの私のストレス解消法になっております。

カマデザインテリア 鎌田 正彦

竣工時は、モダンな建築であったことを感じさせる30年以上も経た古いマンションの一室で仕事をしています。

この仕事を始めて20年以上も経ってしまいました。施主、施工者、そして設計のスペース。それぞれの組合せで、どの竣工現場をとっても同一のものがあてはまることのない商環境の設計に魅力を感じています。業務の内容は個人店主さんの個店設計が主で、物販店から飲食店までの設計から監理まで一括で推進しています。施主さん相手にひたすら丹念に打合せを繰り返して、デザインのみを第一とせず相手先の商品とその商いを第一として親しまれやすく、商いやすい環境を設計理念としています。近年の流通、消費構造の変化に対しての事業者の方々の深い苦悩にデザインだけのデザイナーでなく、共に方向を探って行けるデザイナーでありたいと思っています。

エーディーエー 亀井 克二

私の別の一面

(株)エンジニアリング・フジ 川添 稔

ウィークデーは商業施設のプランニングを主な仕事としていますが、土日の休日はベレーにチーフといった出で立ちでボーイスカウト運動を実践しています。

ボーイスカウト運動は、1907年イギリスのベーデンパウエル卿がイギリスで始め、その後、1909年アメリカに広まり、全世界へと広まっていき、今では131か国に約1,600万人のスカウトがスカウティングを行っています。日本では1922年(大正11年)に創設されています。その教育目的は、『ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践できるよう教育すること』と日本連盟の教育規定に規定されています。また、その教育方針は、『ちかひ』と『おきて』の実践を基盤とし、ベーデンパウエル卿の提唱する班制教育と、各種の進歩制度と野外活動を、幼年期より青年期にわたる各年齢層に適應するように、ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、シニアスカウト及びローバースカウトに分け、成人指導者の協力によってそれぞれに則し、しかも一貫したプログラムに基づいて教育することとしています。

モットーとするところは『そなえよつねに』であり、『日々の善行』をスローガンに掲げています。

以上のような目的・方針に基づいてスカウトを指導していますが、セオリーどおり行かないのが世の常で、応用問題の連続で試行錯誤を繰り返しながら、その時点でベターと思われることを推進していくようにしています。我が子を見る目は違った視点で子供たちを見ることが出来、その世代の考え方や行動が多少なりとも理解でき得て、仕事にも役立っています。

野外活動における技能の修得や野外生活は、私にとっても良き勉強であり、良き運動となっており、心身ともにリフレッシュでき『死ぬまでスカウト』でありたいと思っています。また指導者間においては、雑多な職種・職位の方がおられ、何の利害関係もない故に自由な人間関係が形成され、交友の幅が広がり今後とも大いにエンジョイしてスカウト活動に参加していると思っています。



市内の雑踏を嫌い 郊外高台に住まいと事務所を移して7年。 朝日と夕陽に照らされる北の山並みを1日中楽しみ 中庭の楠の樹で木の実を芝生に落して騒いでいる小鳥達ともいつも出合え 四季を感じては酒盛りをする日々。 この景観を楽しんでいると都市で目にする環境装置がオーバーラップして見えてくる。娘が大学で公園緑地設計の遊具計画として公園の所々に小山を造り洞窟を掘る提案を目にして ホットしたもので、心やさしく、目にさわやかな空間づくりに専念している今日この頃です。

何でもデザイン屋の 老田 徳廣

(株)オカノ建築設計
代表取締役 岡野 秀雄

「暑い」という言葉が何時までも口から離れないまま9月になりました。明け方の涼しさに思わずフトンをかき寄せるこの頃、酷暑が嘘のようにさやかに秋が近づいています。私の事務所は、主に大規模小売店舗の建設に開発計画から参画し、その設計監理を手掛けております。特に、昨今の流通業界の売上げ不振で、建物にあまり投資が出来ない状況下で、それなりのグレードでローコストの建物を建築することを得意として便利がられています。大規模小売店舗法が改正され、西は山口県小郡町から北は岩手県大槌町まで、昨年1年間に延面積4,500坪位の規模の店を5カ所オープンすることが出来、大変忙しい思いを致しましたが、今年は全般的規模の不況の中で規模も小さくなり、まだ2カ所のオープンしか出来ない不幸な年になりつつあります。

(株)布谷 制作技術企画管理部
取締役部長 加地 秀治

本社の制作技術企画関係の責任者として福岡から赴任し、JCDの関西支部に所属して3年近くなります。仕事の性格上、最近では直接設計業務に係わることは少ないのですが、大店法など規制緩和の動き、ローコストの徹底的な追求など、時代が求める要求の変化の大きさには驚くべきものがあります。そのような環境の変化、生活者のニーズを的確に捉え、商環境ならびに商業施設はどの様にあるべきかを考え、真の生活空間の一部として具現化していくことが私達の責務と考えています。これは単に我が社だけの課題ではなく、グローバルな社会の中で業界全体の課題として一步一步前進させなければならぬと私は考えています。

趣味は釣とゴルフ、鉄道模型の制作。酒はほんの少々(?)嗜む程度ですが、後人の育成に務めることは、自他共に認めるところです。今後とも皆様方のご厚情を願い私の自己紹介とさせていただきます。

2001年... 岡空間創造集団
株式会社 若い街

奥村 丑太公

この業界に入り35年以上経ちますが 私にとって好きで始めたこの仕事 “気付けば35年が過ぎていた” という感じです。

最近 街を歩く人々の姿を見ていると 仕事の時間とノルマに追われて 毎日が過ぎていくだけの人が多いように思えます。勿論 私自身 そのように見えるかもしれませんが 良い時はかりではありませんが 常に前向きな姿勢で目標をもち 達成する喜びを感じているのです。喜びを更に大きくするために また努力する。そうしていくうちに人間関係が広がり 新たな出会いがあるのです。

この喜びは 自らが体験して初めて声を大にして言えるのでしょう。

そして これから先 仕事以外の物事においても どんどん参加していけたら... と思いながら 毎日を楽しんでいるところです。

オオタ商業計画事務所 大田 貞

サラリーマンを辞めて早7年余り。元来は建築設計を目指してスタートした社会生活も、内装業界に足を踏み入れることにより、SC・店舗の設計、SC経営計画、店舗経営と来て、元来苦手であった「金」勘定の世界にも3分の1程度浸かってしまうことと成りました。

現在の主な仕事としては、各地の商工会議所・商工会が主な得意先であり、約半分が地域商業活性化計画といって、滅びゆく地方商業、商店街商業を躍起となって復興しようとしています。

そんな関係で商工会の業務の広さから、いろんな事に首を突っ込むことになってしまっております。

参考のために(宣伝も兼ねて)業務を列記しますと「店舗診断」「商店街改造計画」「共同店舗計画」「中心市街地形成計画」「特産品館計画」「道の駅計画」「観光サービス施設計画」「農漁村活性化計画」「地区観光振興計画」「村おこし計画」などであり、内容としては地区の人口動向・商業状況・観光状況・史跡の状況のチェックから、特産品開発・振興組織づくり、計画施設の投資計画、収支計画までを行っております。

(余談)国内ですが、視察旅行が多くて楽しいですよ。



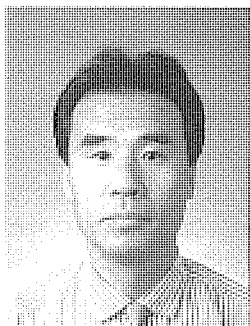
写真の店舗は、4月にオープンした鰻谷のバーです。
 施主は、10年前に設計担当したやはり鰻谷のジャズバー
 アン・サラ・エラ・クリスのマネージャーで、根っからの水商売人。
 私はただ、心地よい空間を作りさえすれば良かったのです。
 さて、心地よい空間とは何か?
 知に働けば、角が立つ、やかましく話しかけてくる空間は煩わしい。
 ここは一つ阿呆になって……
 行き着いた結論は、デザインのためのデザインはしないということでした。

オフィス・トライアド 大和 和男
 材7711

※新入会員

輸入家具やオリジナル椅子の開発を出発点として、業態開発
 や商業施設のプロデュースに関わっております。最近の仕事で
 は6月に京都・祇園にオープンしたサントリーモルツクラブが
 あります。杉本貴志氏の企画によるモルツクラブの2号店で、
 物件の賃貸契約からオペレータ探しに至るまでの実務的なプロ
 デュース協力をしました。京都にしては珍しく大きな店舗です
 が、大方の予想に反して実に好調な滑り出しとなりました。や
 はり飲食業は店舗デザインもさることながらシチュエーション
 が何より大事であると改めて感じました。

今後の仕事の方向としては、円高を活かして海外の建材や内
 装材を余分な流通を排して輸入
 する方法を考えています。業者
 に任せることなくデザイナー自
 身が供給先までを正確に把握す
 ることによって、質の高い材料
 をローコストで使える筈です。
 しかし、これは一方ではデザイ
 ナー自身の意思決定プロセスの
 変革を迫るものでもあると思い (株)アルクインターナショナル
 中塚 重樹



中塚 重樹

(株)乃村工藝社 大阪一級建築士事務所
 蔭山 利夫

「アート・アンド・アーキテクト」建築と美術の融合
 は古くて新しいテーマですが、平面系から立体系まで
 アート感覚溢れるものを……と、常日頃建築空間に心
 を遊ばせています。建築に専ら行動するアートを、そ
 して街が少しでも愉しくなるのなら、多くのランド
 マークを印したい。

arts & architecture

※新入会員

今後、関西支部のお世話になります。どうぞよろしくお願い
 致します。

この業界に入り、また富士高にお世話になり27年が過ぎまし
 た。

その間、京都を皮切りに名古屋・大阪・高崎と転勤をし、仕
 事の内容も設計で入社して衣料・食品・喫茶・レストラン等の
 個店からショッピングセンターまで手掛け、最近は商店街の活
 性化・街の活性化まで手を広げています。

私の信条として

- ①本当の店舗デザインは繁盛して、はじめて成功したといえ
 る。
- ②誠心誠意仕事をする。
 の2点です。

趣味は旅行・写真・絵です。



富士高技建(株) 前田 泰弘
 (出身地 大阪/S18年生)

21世紀から見た現在 テーマ「環境と時代性」 Part II

シンポジウム委員会報告 里吉 明



1994年8月26日 札幌

黒川森一理事長

昨年6回行った商環境デザインシンポジウム「SECTION」は、「商業性」を核に様々な分野の人とパネルディスカッションを開催致しました。特に1980年代のかかわりの本質を見直す必要から、このシンポジウムが始まりました。

それは表層的な時代の流れではなく、もっと根本的なところでのスタンスを見だし、再構築するのを感じていたのであります。旧来の価値観は確実に闇の中に葬られ、未来を予見しうる新たな価値観の創出は、枠組みに囚われない柔軟なイメージーションによってもたらされるといえます。

21世紀という近未来から眺めた、今現在の商環境デザインと時代に不足しているもの、変革すべきもの、求められるものとは一体何なのか？ 次の時代の商環境を担うべきマージナルエリアこそが、今必要とされています。

「SECTION」では、今年も様々な分野の方々に登場願ひ、今我々が何を見つめてゆくべきか追求してゆきたいと思ひます。

昨年の6回の東京を中心とした開催に続き 第7回は1月に金沢にて「環境と気質」をテーマに 第8回は6月東京にて 今年度のテーマである「環境と時代性」をガエターノペッシェ、内田 繁、三宅 理一の各氏による講演があり、今回の第9回は同テーマに関し昨年引き続き 北海道にて左記の講師により発言がありました。

妹島女史は“与えられた環境や境界線という条件の中での快適性や価値の追求” 竹山氏は“時代に左右されない価値を座標軸においている” 北山氏は“記号社会から実感社会へと変換する中での価値基準”について、各氏の作品をスライドで説明しながら語っておられました。詳しくは次号の『商環境』誌をご覧ください。

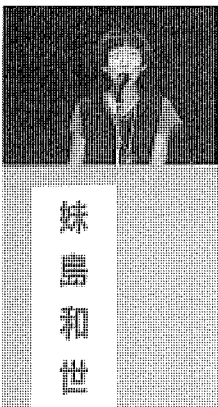
昨年の開催に引き続き北海道での2回目のシンポジウムは、応募総数587名、当日参加者326名という盛会になり、北海道地域での関心の高さとJCD支部担当者の方々の熱意の結果が現れ、また来年も開催したいという支部の意気込みを感じることができました。

「デザイン賞」と機関誌「商環境」の発刊と、このシンポジウム「SECTION」はJCDの本部事業の外向きの基幹事業として位置づけられています。昨年度までの東京中心とした活動から地方支部での開催を多くし、会員の皆様との交流や外部へのPRとJCDの会員募集のPRも努めるべく企画されています。大阪での開催も多くの方々から要望されており、只今検討準備中ですが「SECTION」のシンポジウム参加ご希望の方は、本部事務局に予定等をお問い合わせください。

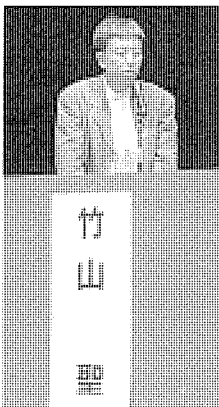
同じ職能の仲間として、新しい時代への思考を皆で語り合いませんか。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

◎シンポジウム委員会

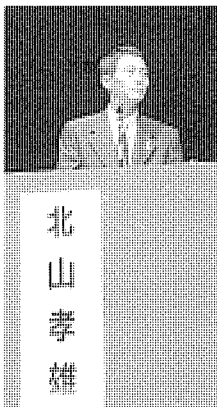
委員長：杉本貴志 副委員長：岩佐達雄
「関東」：飯島直樹・近藤康夫・渡部 隆
「中部」：祐成 隆 「関西」：里吉 明



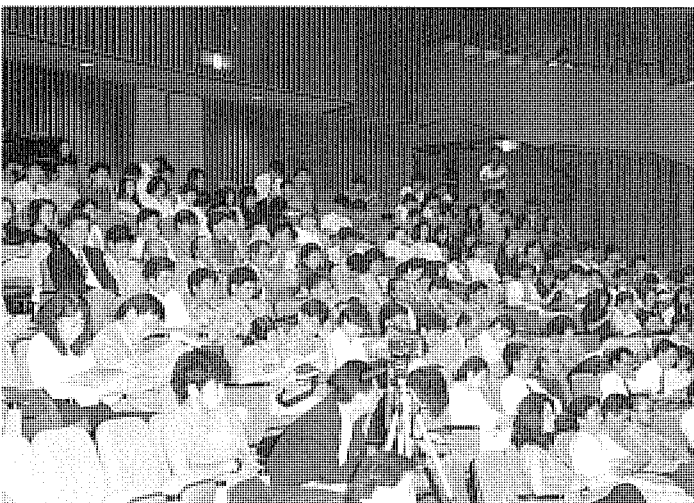
▲建築家
('94商環境デザイン大賞)



▲建築家
(京都大学助教授 大阪生まれ)



▲商環境プロデューサー
(建築家A氏とは?)



(カデルホール) 一杯の熱心な参加者

世界リゾート博は、9月25日、72日間の会期を終え閉幕した。

期間中の来場者は約298万人。当初目標の150万人の2倍近くに達した。バブル崩壊後の地方博としては大成功といえるのではないかと……。

これほど人を集めた要因としては、関西新空港の開港による和歌山への関心の高まりや道路の整備など博覧会周辺の要因、景観の良い人工島の特性を十分に活かした会場計画が考えられる。

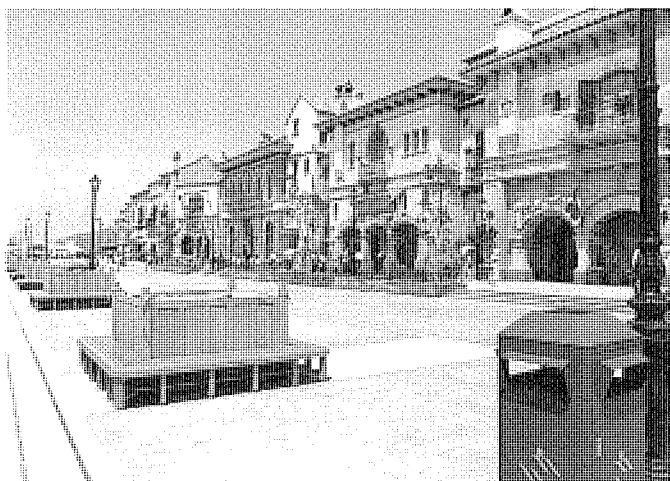
特に会場のデザインは、この規模の博覧会としては決して大げさな作りではないが、細部までよくデザインされ、魅力ある会場づくりがなされていた。会場計画が新しい試みにより、展示やアトラクションにはあまり目新しい内容はなかったように思う。関西電力館のシュミレーションシステムなど、一部では新しい手法にチャレンジするものも見られたが、多くは予算の厳しさもあり余りパツとしたものはなかった。

また、多くの入場者をさばこうとするため演出時間が短くなり、そのためソフトの内容が今一つのものも見られた。そんな中で、テーマ館の映像館が手法的には新しいものではないが、しっかりしたソフトと演出により良くできていた。特にラストのシーンでの会場の環境を取り込んだ演出（スクリーンが上がって会場の海がステージいっぱいに見える）は、今回のパビリオンで一番印象に残るものであった。

パビリオンの列に並んでいる時、おばさん達の会話の中にハウステンボスやレオマワールドといったテーマパークとの比較を聞くことが数度あった。一過性の博覧会と恒久施設のテーマパークを比較することはナンセンスなことだが、来場者にとってはそんなことはどうでもよいことで、どれだけ楽しませてくれるかが問題なのだろう。

同じ様なアトラクションがテーマパークやアミューズメント施設に次々登場する現在では、博覧会における企業出展のアトラクションも段々新鮮さを失って来ている。環境を取り込んだアトラクションやイベントなど新しいアプローチの仕方を考えて行く必要を強く感じる。

(株)乃村工芸社 小出 章夫



8月16日、行って来ました「世界リゾート博」。連休中にしては予想ほど混雑もなく、比較的ゆっくり楽しむことができました。お薦めは「ポルト・ヨーロッパ」。美しい欧風建築の街並みの一画をそのまま会場に移して来たようなもので、散歩するだけで異国情緒がたっぷり楽しめました。

いやはやそれにしても暑かった。リゾートイコール行楽地。でもこの季節に開くのだから、もう少しは「避暑地」としての機能も準備しておかないと倒れる人が出る、と思うほど……。そして9月も半ば過ぎ、季節も良くなり行楽シーズン到来。リゾート・シーズン。9月25日「世界リゾート博」は終わりました。おいおい

JCD関西支部 田中 陽子

四国支部より四国・高松「高松港頭地区の再開発事業」について報告します。

高松港は、国鉄連絡船および中・長距離フェリー等の就航によって、四国の玄関口として発展するとともに、四国の中枢管理都市として高松市が発展するうえで、極めて重要な役割を果たしてきました。一方、瀬戸大橋の開通、高松空港の開港、四国横断自動車道の整備等が着々と進み、地域の「人・物・情報」の流れが大きく変動してきました。こうした動向に対応して高松市においては、そのインパクトを大きく生かした地域整備が課題となっています。そしてこれまで重視されてきた「旅客・貨物ターミナル」としての機能だけではなく、より文化的で潤いのある港町ならではの空間を人々に提供できる「ウォーターフロント」として総合的な港湾空間の創造が求められています。しかし香川には基本的な都市政策が欠落しており、市民も行政主導型になれているせいか積極性が感じられない。そのうえ、社会の変動に比べると計画は遅れており、地域の特性を良く知っているコーディネーターを求める声もある。こうした状況の中でこそ地域の発展のために、より良い企画を提案しアドバイスできるよう、我々JCD四国支部一同、ファーストステップの段階で提案参加の依頼を受け検討中です。

サンポート高松の **土地利用の方針**

◆**駅北ゾーン**

広場を中心に賑わいを持たせ、高度な都市機能が集積する新しい都心核を形成します。(ホテル、コンベンションアリーナ、高度情報センター、官公庁施設等)

◆**駅前ゾーン**

高松の新しい顔づくりとして、駅前広場の整備を図ります。

◆**駅南ゾーン**

魅力ある商業業務地の形成を図ります。

(商業業務ビル等)

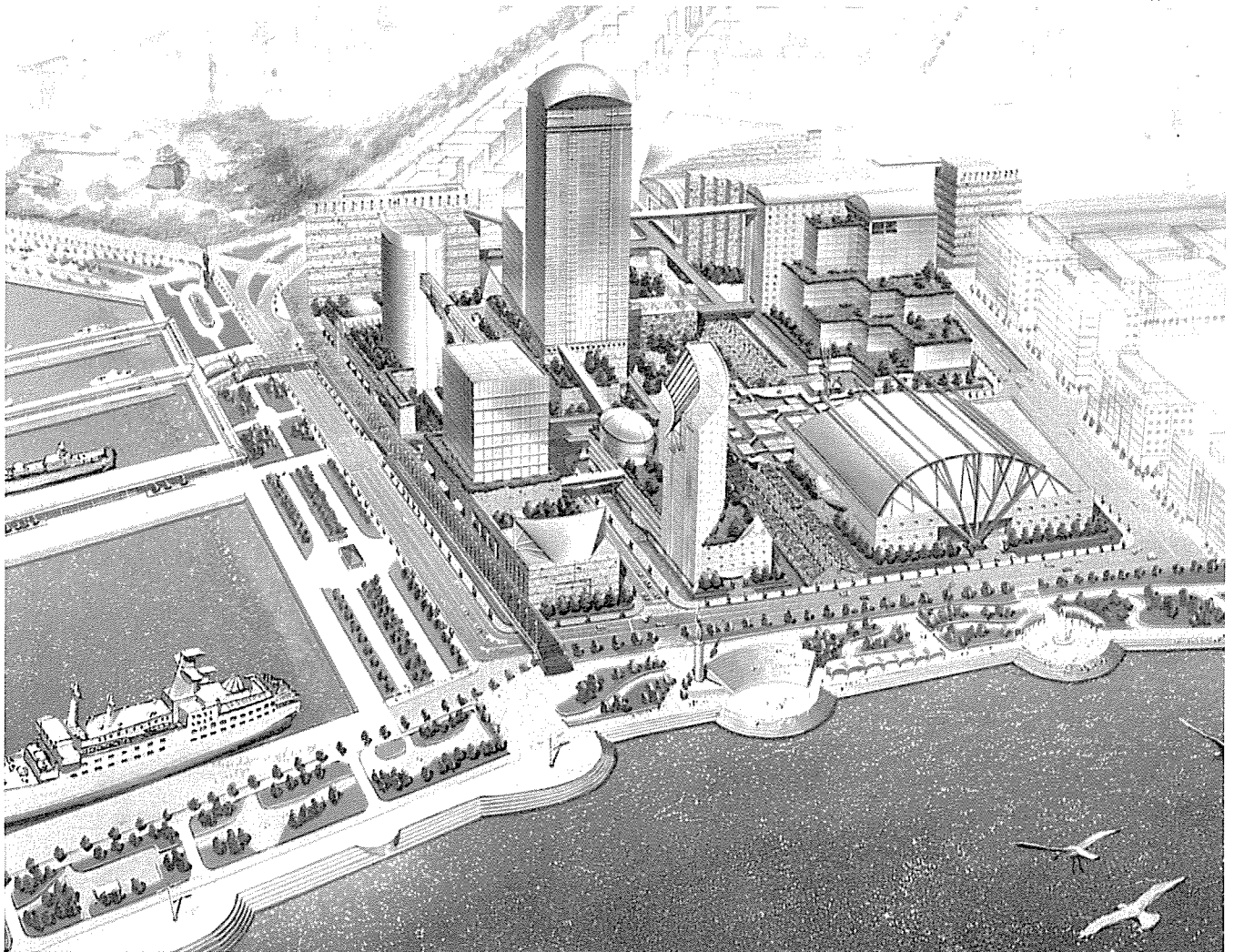
◆**みなとゾーン**

旅客ターミナル施設や港湾関連業務施設などの賑わいのある施設の整備を図ります。(旅客ターミナルビル等)

◆**親水ゾーン**

大型旅客船ふ頭の整備とあわせて、親水護岸や緑地をプロムナード化し、新たな水辺空間を創出します。

イメージ



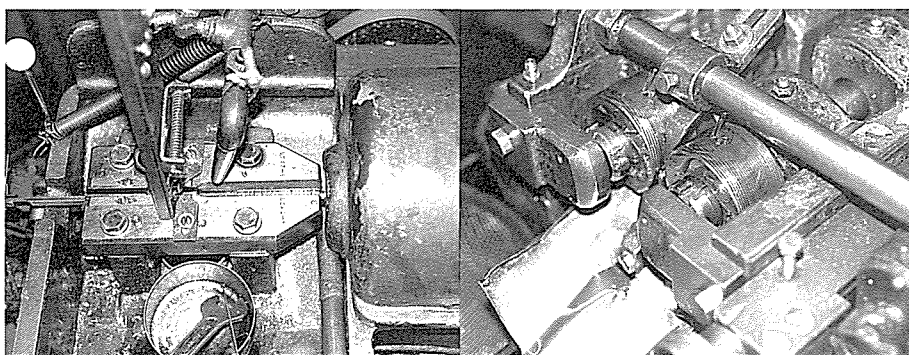
(株)吉田着色の吉田忠弘さんをご紹介します。

作業場だけを見ていると、普通の塗装屋さんと変わらないようですが、作業場で「こんな事も出来るよ」「これも私の所でした現場・・・」と色々なサンプルや写真を見せられ、これは普通の塗装屋さんではないな!と感心してしまいました。現在は、私の事務所で開発したスイッチプレートに御影やトラバーチンの模様を吹き付けしてもらっているのですが、酸で焼いたり、鉄サビを出して、そのままの状態ですら仕上げたりと我々のイメージを大いに広げてくれる方です。この技術を単に自然の材料に似させて描く「擬似絵」としてではなく、一つのアートとして活かせる場所があればと思っています。後は、我々設計する側がいかに正確にイメージしたものを彼に伝えるか、その『表現力』が試されるでしょう。

(有)原川公一商環境計画研究所 原川公一

■株式会社 吉田着色 ■ 代表取締役 吉田忠弘

〒543 大阪市天王寺区勝山3-5-19 TEL:06-771-8498 / FAX:06-771-3811

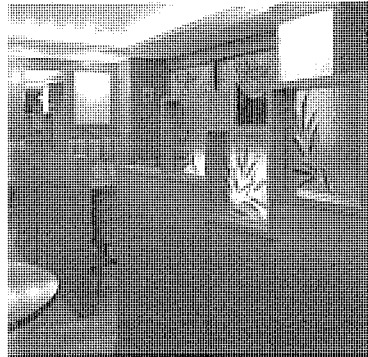
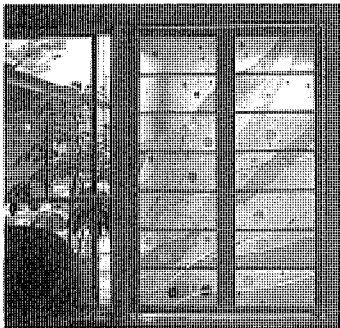
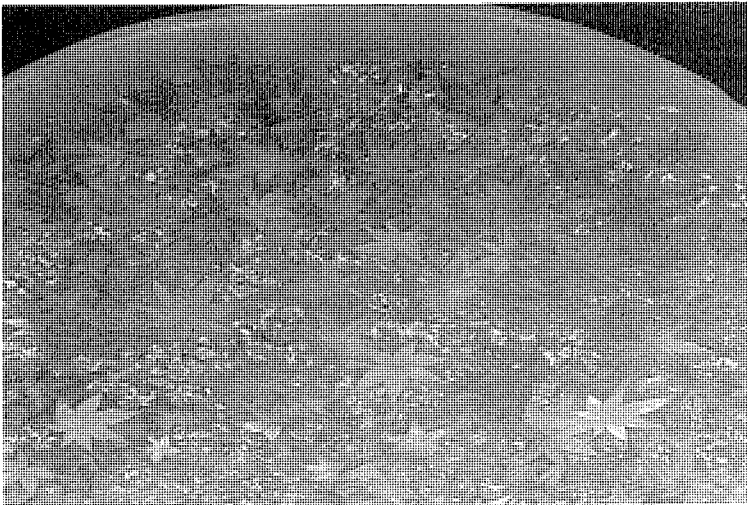


川端ネジ製作所
川端謙二さんをご紹介します。

川端さんは、ネジ屋さんです。工場を拝見して我々が日頃、何気なく使っているネジやボルト・ナットが、どのようになっているか、どのくらい精密機械に作られているのか、長さ3mm程のネジが入っているスリットに、その3mmの径にスリットが入っているに広がりを持たせる事で、抜け止めになっているそうです。その精密さに裏付けされたネジやボルト・ナットに何と川端さんは、個性やキャラクターを持たせたのです。我々の仕事の上で、考え方の多くは、ネジやボルト・ナットをいかに「隠す」か、または目立たないようにする事と話をしているうちに、今度は、川端さんやボルトが楽しく語りかけるような空間が生まれてもよいと感じました。

■連絡先■
川端ネジ製作所
代表取締役 川端謙二

〒577
東大阪市衣摺4-9-11
TEL: 06-728-7570
FAX: 06-728-2178



新しいガラス七宝の誕生

クラフト あずま 東 洋子

晩秋の朝、池の水面に散った紅葉に薄水がきらめいている。そんな光景を写し取ったかのような一枚の大皿、七宝作家 東 洋子氏の作品を前に、これが本当に七宝だろうかと思いを凝らしてしまう。この作品は、アート&クラフト垂裳織が開発したガラス胎七宝（ガラスの上に金又は銀のリボン状の線で模様を描き七宝釉薬を載せて焼き付けしたガラス）を 東 洋子氏が大皿に表現したものである。いろいろな器や絵皿を描いてきたが、数年前から建材分野にも挑戦している。

これはクリスタルアート・ソグノ・デコである。300mm角のガラスにいろんなパターンを描き組み合わせにより、ステンドグラス風の空間が描き出せる。東氏の夢としては、いろんな建築物の中にガラス胎七宝を取り入れ異業種の人との交流を促し、新しい観点・考え方を取り入れたいと望んでいます。

東 洋子

- 1948年 京都市に生まれる
- 1953年 河合デザイン研究所グラフィックデザイン科を卒業
- 1970年 七宝を水野貴美子氏に、彫金を奥村栄太郎氏に師事
- 1985年 大阪工芸美術展入賞
- 1987年 インターナショナルクラフトコンペ入賞
- 1987年 ジュエリーデザインコンペ入賞
- 1991年 しがらき陶芸祭で日本陶芸新聞社優秀を受賞

クラフト あずま
京都市北区紫竹桃ノ本町4
TEL. 075(493)9437

7-1&7-2 垂裳織
愛知県碧南市中町3丁目81番地
TEL. 0566(92)6866
FAX. 0566(92)4926

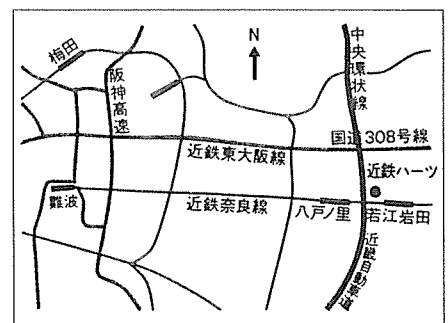
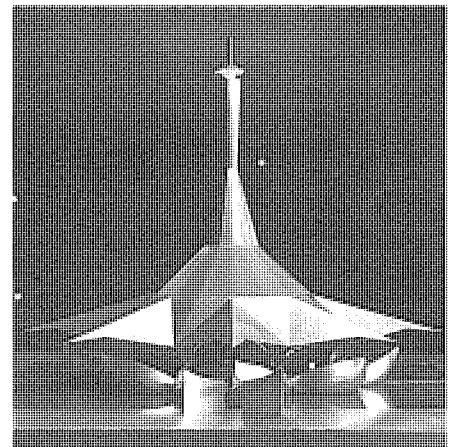
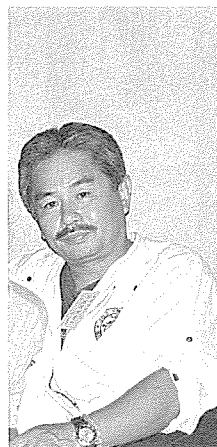
氏本 義次（株式会社ビルダー 代表取締役）

この世界に飛び込んで早30年近くになるが、世に「奥が深い」という言葉があるが、この歳になって漸く分かってきたような気がする。

入った頃は、本当に何もかもが手造りで、機械という様な物は数える程しか無かったが、今では何もかもが機械任せの様になってしまった。元来、手造りを目指している私にとって耐えられないことである。

しかし、機械がなければ仕事が出来ない現状、迷いもしたが自分の「意志を尊重」し、現在、工業デザインモデルをしつつクラフト工房「ダルビー」を発足。いろんな素材のアーティスト達と一緒にショップ的に製作・販売。勿論、発注させていただければ一番だが……。

- S. 22 大阪生まれ
- S. 48 (株)ビルダー発足
- S. 56 大阪芸大 講師
- H. 2 近鉄ハーツ、ギルドホールにてクラフトハウス「ダルビー」発足



海・山・太陽の家

たまには、商環境設計から離れて、現在設計中の住宅の仕事を紹介したいと思う。

これは、インドから日本にこられて20年以上にもなるインド人、K氏のお宅である。場所は、神戸市東灘区の急な坂の多い住宅街の小さな川に面した一目してパットしない不整地であった。

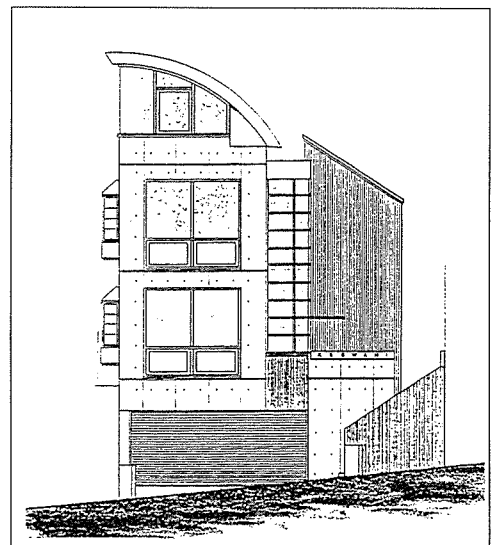
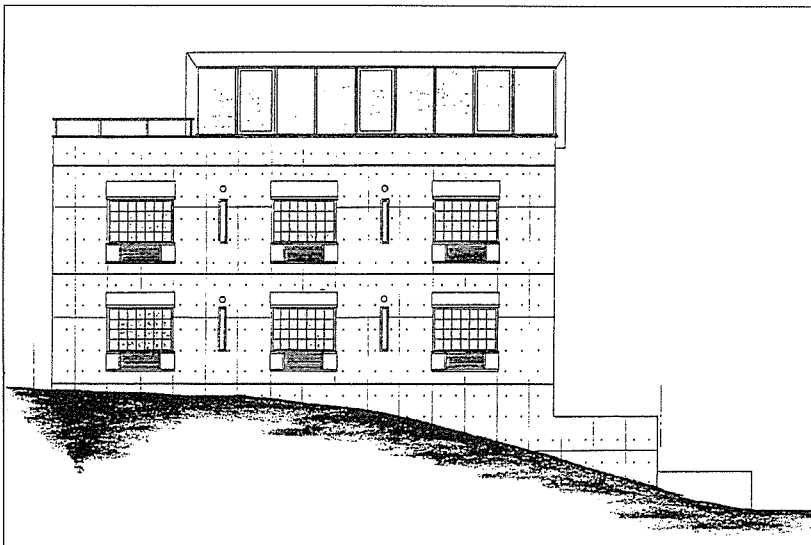
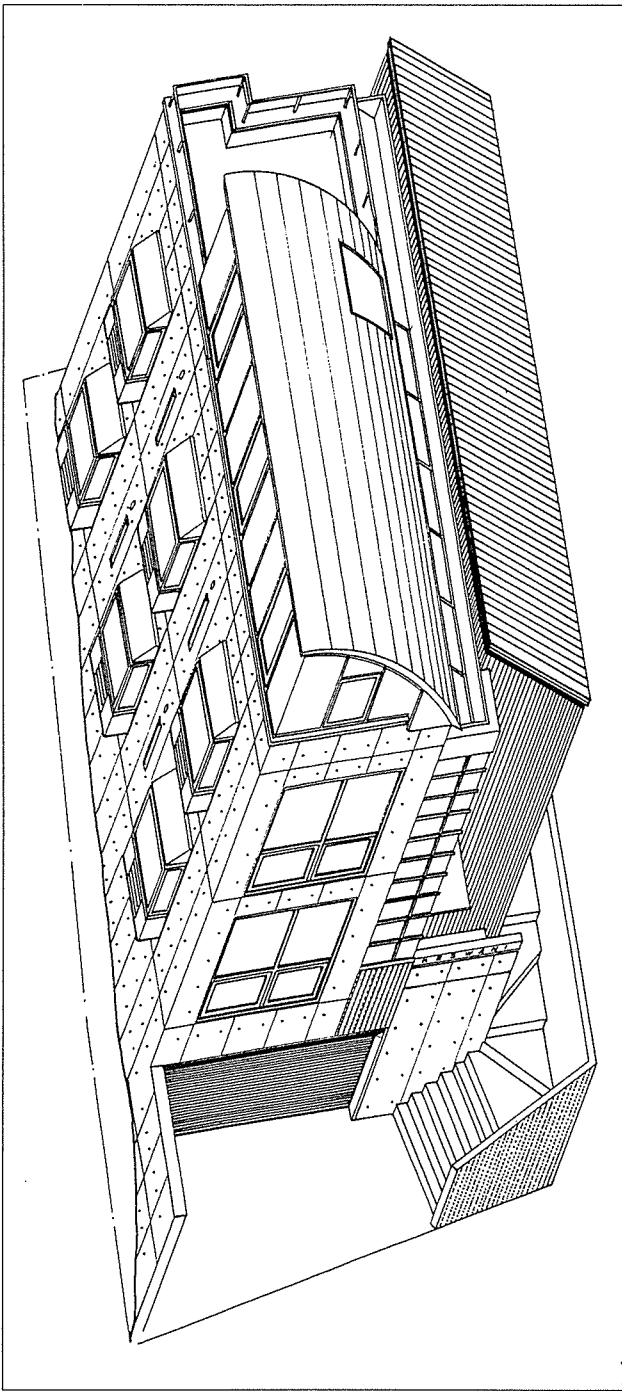
しかし、元来私は坂が好きである。坂に向かって上がったたり下がったりする景色は、街中の平坦な道では叶えられない風情があるし、うまく設計すれば大阪湾も一望できる風景、また反対側には山の緑が迫っている。上手に風の道を作ってやれば空調も要らないだろう……。

初めて訪れたときは、雨の降る日であったが、小1時間、山と海と坂を眺めている間にこの基本構想は既に閃いていた。

つまり居住区と、トイレ・バス・キッチン等のウォーターセクションとを構造的に分離し、各々の箱を作り、その間に生まれる空間をガラスでおおい、太陽が注ぐ中廊下とし、その床はガラスブロックを使って1階まで光を届ける。

また、水のあるところ事故ありで、ウォーターセクションを1つにまとめると、水回りの生活音を居住区から遠ざけることも可能であり、将来のメンテナンス等とても有利である。地階に十分なスペースを持つガレージを配し、1階にリビング(生活区)、2階に寝室、3階に自由空間とテラスを設け、海・山・太陽を1年中楽しむことができる住宅と考えている。

(株)フレスコ 足立 和夫

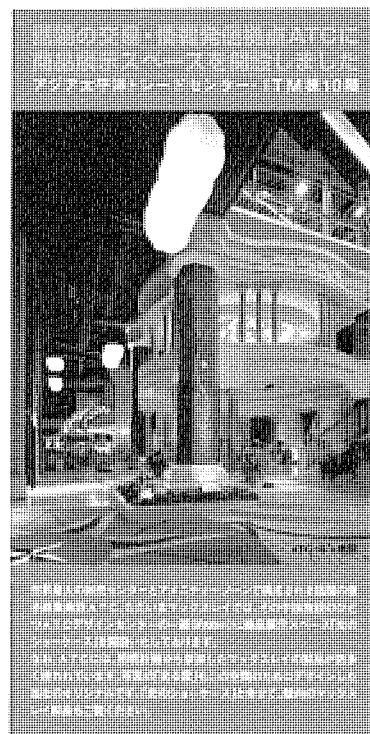


マックスレイ新本社ビルが、平成6年9月7日にオープンした。大阪ビジネスパーク（OBP）の近隣で、OBPを東西に抜ける道路に面して位置する。「ほんの数メートルでOBPですが、環状線の内と外ではがらりと雰囲気が変わる。そんな、城東区の鳴野でランドマークとなるような建物になるものを依頼しました」内外ともコンクリート打ち放しで、採光部をふんだんに取り入れた建物。L字型の敷地に西館7階、東館5階、地下1階、中央には5層分吹き抜けの大胆な空間を有している。

ここは、マックスレイの中核機能を果たす本社。関西地区の拠点である大阪支店を配している。



名 称	マックスレイ株式会社 新本社ビル
所 在 地	大阪市城東区鳴野西2-18-6
設 計 士	安藤忠雄建築研究所
施 工 者	株式会社村本建設
施工期間	平成5年1月～平成6年8月
総 工 費	4億3,000万円 (設計料・什器・備品除く)
敷地面積	345㎡
建築面積	204㎡
延床面積	972㎡
構 造	鉄筋コンクリート
階 数	地下1階、地上7階
主要外装	コンクリート打ち放し
主要内装	コンクリート打ち放し



ひとこやさしく 環境創造

THE FRED F. FRENCH BUILDING

FORME 株式会社フォルム

環境デザイン
各種施設導線計画
サイン計画

企画・設計・施工

FORME

〒550 大阪市西区靱本町2丁目4番7号 杉本ビル
Phone:06-446-1905 FAX:06-446-1906

編 / 集 / 後 / 記

長かった 暑かった 凄かった夏が やっとのことで過ぎ去りました。
 関西新空港も将来への夢と期待を乗せて、やっとのことで開港にこぎつけました。
 今回、原稿をお願いした方々、広告をお願いした方々、ご協力ありがとうございました。
 やっとの思いが込められた第34号が、やっとのことで発刊することができました。
 (担当グループ: 久保田・市川・立花・松井・西川・酒井)

久保田 記

Needs

&

News

設計・施工・石材販売

G・S・C グレイト・ストーン・コーポレーション

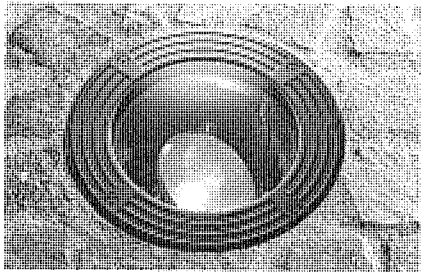
建物の内・外装の石貼り工事及び本石規格石材等の材料加工販売をしております。また、カットサンプルをご用意しておりますので、ご請求ください。

〒573-01 枚方市津田 2586-58

TEL. 0720-59-8159

FAX. 0720-59-2981

担当: 上田

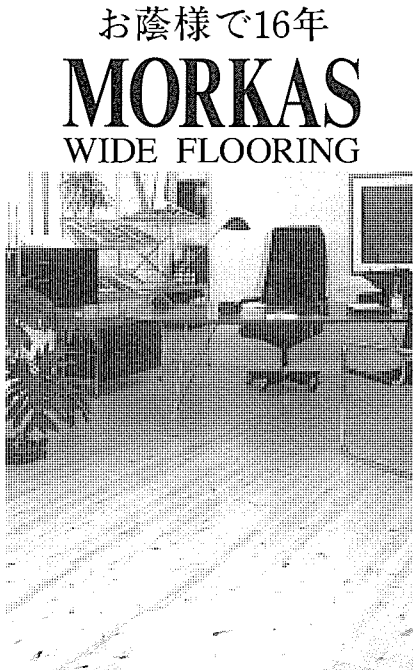


屋外照明の新スタンダード "アビエンテ"

過酷な環境に耐えて長く安定した品質と性能を保つことが要求される屋外照明に、マックスレイは独自の厳しい品質基準を設けました。耐候性や耐食性は言うに及ばず、酸性雨やコンクリートのアルカリ成分などによる化学的な影響への対策も万全。永く、安全に、安心してお使いいただくための新品質基準です。

大阪南港のATC、ITM棟10Fで商品展示スペース「光のショーケース」を開催しています(9/1~11/30)。ぜひご覧になってください。

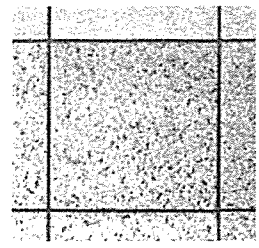
マックスレイ株式会社
大阪支店
TEL/06-967-0123
FAX/06-967-0837



INTER LIVING co., ltd

〒151 東京都渋谷区代々木4-17-3-203
TEL 03-3379-7379 FAX 03-3379-0505

貼る・石材調外装仕上材 フレッグスシート



石材調吹付材と粘着ゴムシートを複合した、まったく新しい壁用仕上材です。プライマーを塗布し、押圧するだけで御影石を積み重ねたような豪華な石張り壁が出来上がります。

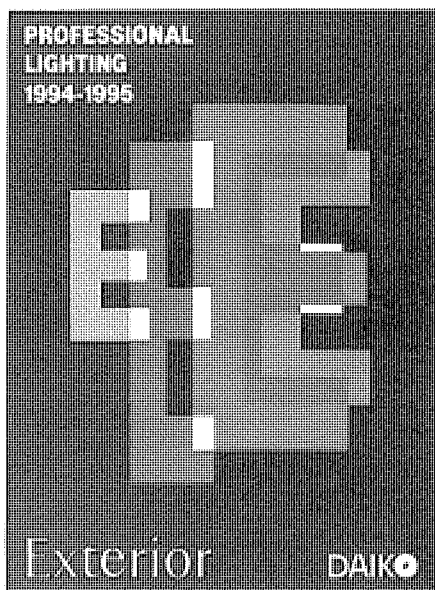
商品説明書をご用意しておりますので、ご請求下さい。

世界長株式会社

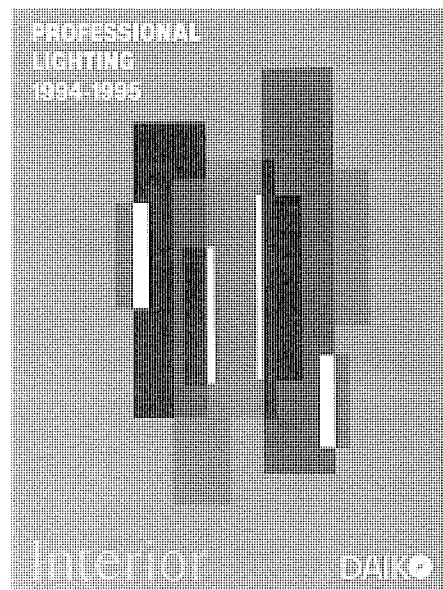
化成品事業部 開発部 開発販売課

TEL:0798 (26) 5725

FAX:0798 (26) 5757



エクステリア編



インテリア編

個性と感性が、
発光します。

商業施設、店舗用照明器具カタログ「プロフェッショナルライティング 1994-1995」〈インテリア編〉〈エクステリア編〉を発刊いたしました。ご希望の方はご請求ください。
大光電機株式会社 本社営業企画室 古川 Tel.(06)972-7880 Fax.(06)972-8870

Needs

&

News



'94 新総合カタログN-1ができました。

カタログをご用意しておりますので、ご請求ください。

株式会社 日照

TEL. 0726-34-1231 FAX. 0720-34-1239

■高級な素材と優れた技術！！■

アートサンドガラス (ART SAND GLASS) は、両面からフルエッチング加工したステンレス鋼板をはさみ込んだ、デザイン性に優れた合わせガラスです。

QUALITY

感性豊かな社会をめざして

魅力ある豊かなまちづくりのために、我々はステンレスや伸銅品を通じて社会に役立つと努力しています。鏡面ステンレスをはじめ、カラーやヘアラインステンレスにより、まちに美しさと彩りを与え、銅や黄金色のしんちゅうにより、まちを豪華にしています。また最近では、アートサンドガラスにより、アメニティある芸術豊かなまちづくりができればと考えています。

また当社では、厨房機器からあらゆる工業製品にいたるまで、お客様の幅広いニーズに応えることのできるよう努力を続けています。

企画・設計・製作・施工

株式会社 ヤマサ

〒542 大阪市中央区島之内1丁目4番30号
TEL (06) 251-3431代 FAX (06) 251-3438



宝塚/手塚治虫記念館(くもの巣の階段)に採用された「アートサンドガラス」

NEW WAVE, A SENSE OF LIFE
KOIZUMI

グッドデザイン選定商品。

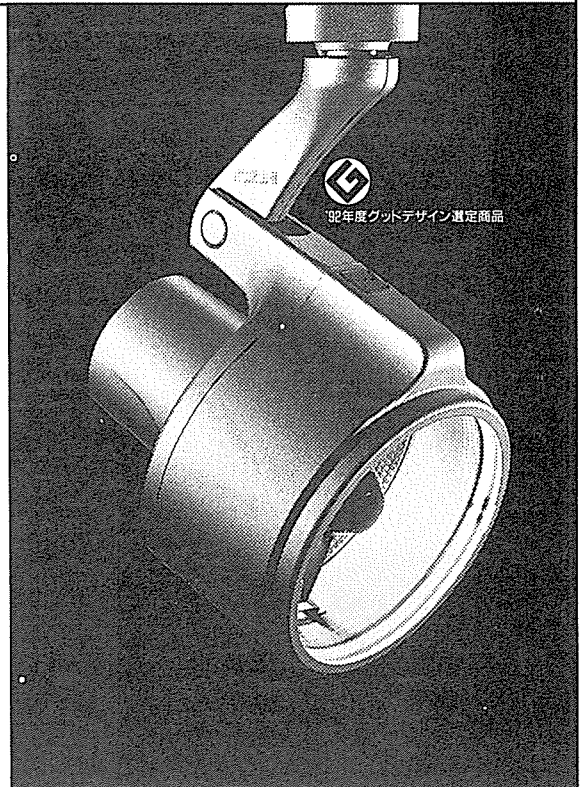
G-dazz
COORDINATED SPOT

小泉産業株式会社

事業本部 〒541 大阪市中央区橋本町3-2-8 長谷ビル
TEL.06-266-7804 FAX.06-266-7845

KOIZUMI ぐらしのショールーム/イズム・エル大阪

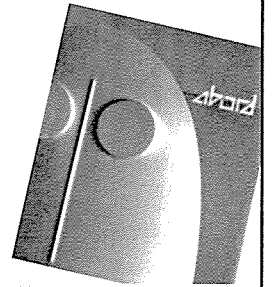
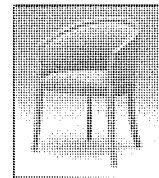
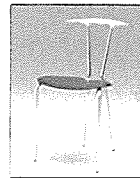
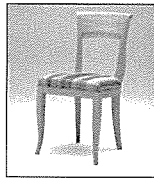
〒562 大阪府茨田市荻野4丁目2-10 TEL.0727-24-1265



Needs
&
News

変わりました、風が変わりました。

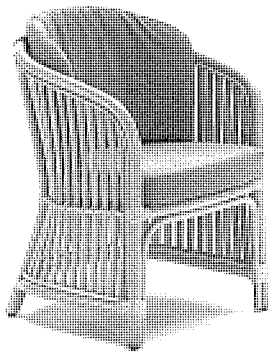
abard



KINOSHITA
株式会社キノシタ

本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06(644)5541(代) 商品管理センター 〒578 東大阪市若江東町4丁目3-1 ☎06(725)3031(代)
東京支店 〒123 東京都足立区鹿浜5丁目5-18 ☎03(3855)4711(代) 出雲工場 〒693 島根県出雲市長浜町516-45 ☎0853(28)0311(代)
名古屋営業所 〒458 名古屋市緑区菅根2丁目264 ☎052(624)6660(代)

GLAMOROUS LIFE
CASABLANCA®



株式会社村田合同

西日本セールス
〒542 大阪市中央区東心斎橋1-1-12 ひまわりビル3F
TEL(06)245-0321代 FAX(06)245-0324
本社 〒123 東京都足立区堀之内1-20-3
TEL(03)3897-2211代 FAX(03)3857-1366代
西日本セールス 担当:西岡、平松

TOSO

ナチュラルな

素材感を楽しむ

ウインドウトリートメント。

ローマンシェード「おりぎ」「すだれ」、
装飾カーテンレール「ニューウッディ」。

10月1日より発売。

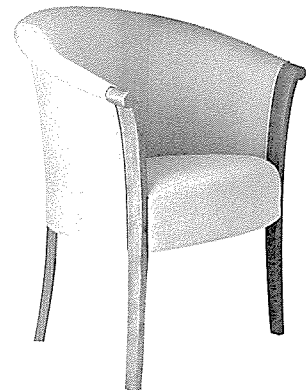
新しい窓の演出にご利用ください。

カーテンレール、インテリアブラインド
ロールスクリーン、プリーツスクリーン
ローマンシェード、パーチカルブラインド

トーソー株式会社

ショールーム WIC ステーション大坂
大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル8F ☎06-943-8311

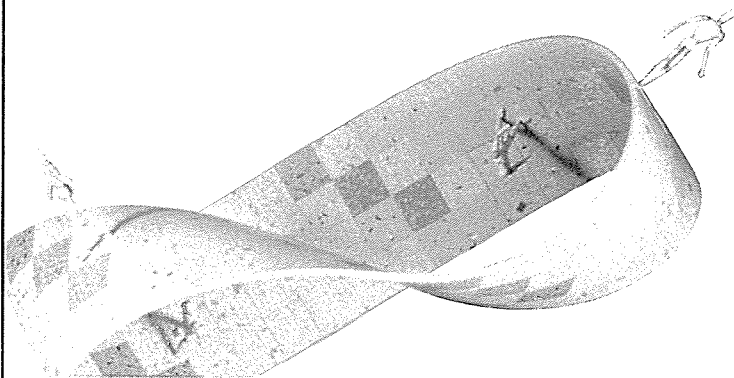
ALMA
ALMA series OPERA



AIDEC

株式会社アイデック/大阪市西区新町1-10-2 大阪産業ビル
Phone.06-534-0258 Fax.06-532-4876 担当:正木

床を創る
TAJIMA



人・歩・く

いつからだろう。
人が、歩きはじめたのは。
どうして、だろう。
地球に重力があるのは。
いつからだろう。
人が、靴をはくようになったのは。
どうして、だろう。
屋根の下に、人が暮らすようになったのは。
きつと、これからも
人は、歩きつづける。
人が歩きつづける限り
タジマは、これからも床づくりです。

株式会社 タジマ

営業本部 〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03-3866-6101 FAX03-3862-5908

東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町3-10-12山源ビル
☎03-3861-3101 FAX03-3861-3615

大阪営業所 〒550 大阪市西区京町堀1-10-5
☎06-441-5951 FAX06-444-2596

HUMAN WORKS
タジマは「床づくり」で人と共に歩む。

ひとすじのひらめきが
おおきなときめきを
生みだしている。



Nashop
LIGHTING CONTEST '94

第13回 ナショップ ライティング コンテスト '94

■対象作品①物販部門②飲食部門③サービス部門④大型商業施設部門 1993年1月1日～1994年12月末迄(2年間)に完成し、開店した施設で奇賞時に実証可能なものとします。※使用器具メーカーは問いません。■応募締切 1994年1月20日必着■応募方法 下記の資料請求欄に必要事項を記入し、フックスにて事務局までお送りください。■入賞・賞金 物販部門/飲食部門/サービス部門/大型商業施設部門④最優秀賞：各部門各1作品50万円、または50万円相当の旅行券⑤入賞：各部門各4作品20万円、または20万円相当の旅行券⑥新人賞：35歳以下の応募者を対象とし若干名選定20万円、または20万円相当の旅行券(ライアントは除く)⑦デザイン賞：5万円相当の旅行券10作品程度(主催者が賞を贈呈するに値する)と認められた作品⑧省エネ特別賞：主催者が省エネルギーの観点から賞を贈呈するに値する作品20万円、または20万円相当の旅行券⑨1作品に対して、賞の重複はありません。■審査員 清水浩(委員長)、石井幹子(副委員長)、伊東豊雄、牛建務、田原繁、海藤春樹、武石隆、八島治久、50音順、敬称略(主催者代表1名)■発表方法 ①商店建築・新建築 日経アーキテクチュア・日経エレクトロニクス(商業施設等の種別) 1994年4月号予定(主催者松下電工株式会社(後援)社団法人 商業施設技術団体連合会、社団法人 日本商環境設計家協会、日本ディスプレイデザイナー協会(順不同))

松下電工株 Nashop LIGHTING CONTEST事務局 行 (JCD関西)

FAX 0120-13-5415

■会社名	■代表者名
■住所	■電話番号 ()

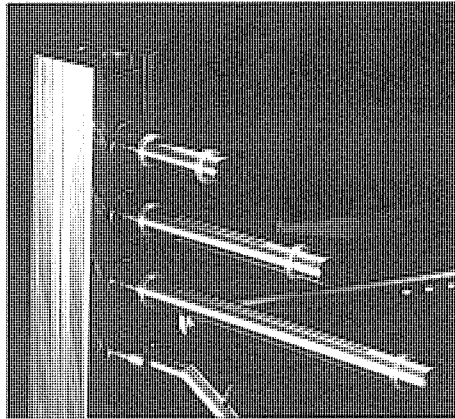
※上の欄に必要事項を記入し、事務局宛にこのページのすべてをFAXでお送りください。応募要項等、詳しい資料を送らせて頂きます。

●お問い合わせは、松下電工株ライティング コンテスト事務局 0120-13-5410



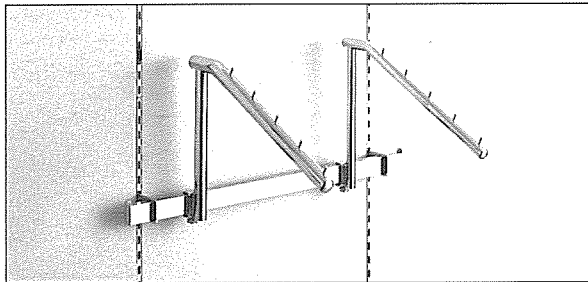
ROYAL AA SYSTEM

時代の先を歩いていたい。

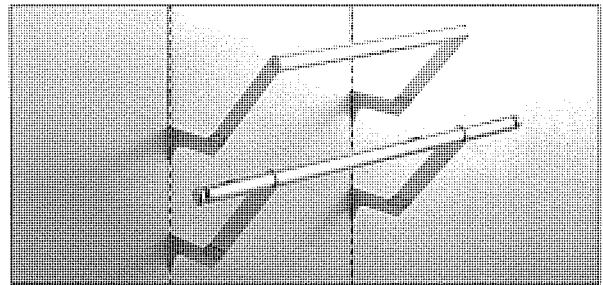


時代の先を支えたい。

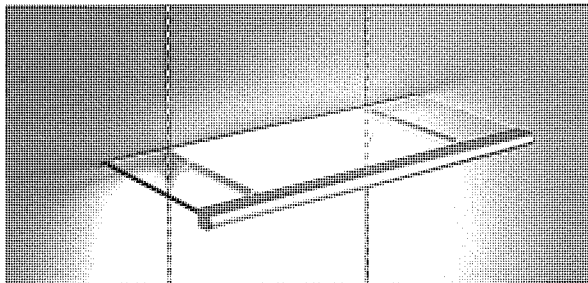
NEWS



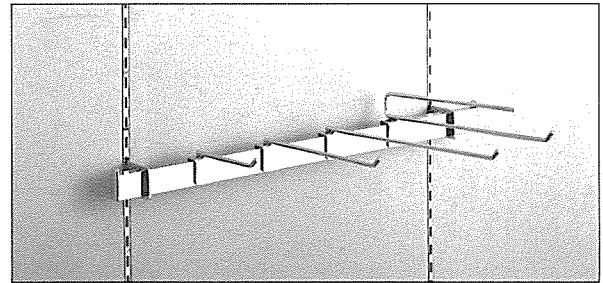
フェイスアウトハンガーアップタイプ



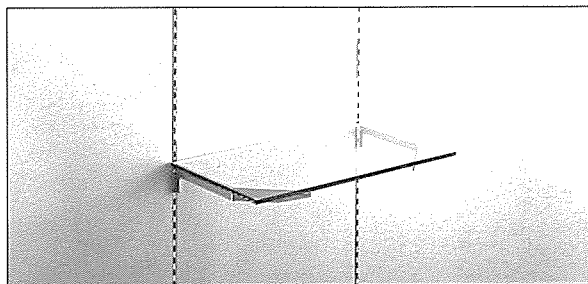
アップハンガーブラケット



フェイスアウト用ビームジョイナー



ロッドフックシリーズ



ブレーキングブラケット



本社/東大阪市長田東1丁目56番地
〒577 ☎(06)789-1234(代) FAX(06)789-1231
東京支店/東京都墨田区緑1丁目7番11号
〒130 ☎(03)3634-6180(代) FAX(03)3635-5766

※詳しくは、ロイヤルメインカタログ1994年5月21日付一部価格改訂版をご参照下さい。